

1. 河川及び流域の概要

1.1 流域の概要

九頭竜川水系は、その源を福井、岐阜の県境油坂峠（標高717m）に発し、北西に流れ、石徹白川、打波川さらに真名川等を合わせ、勝山市を経て福井平野に出て、日野川を合わせ北流し、三国町において日本海に注ぐ幹川流路延長116km、流域面積2,930km²の一級河川です。

その流域は、福井、岐阜両県にまたがり、福井市をはじめとする6市13町3村からなり、福井県北部における社会、経済、文化の基盤となっています。流域内人口は約67万人であり、福井県人口の約80%を占めています。流域全体の約37%にあたる約25万人が福井市に集積しています。

流域の形状は、加越山地、越美山地、越前中央山地、丹生山地に東・西・南の三方を囲まれ、北方に河口が開けています。流域は、九頭竜川本川、日野川、足羽川流域の3つに区分され、九頭竜川本川流域は全流域の中央部および東部を占め、日野川流域は西部と南部、足羽川流域はその中間部を流域としています。

流域内の年間総雨量は海岸部で2,000～2,200mm、山間部で2,600～3,000mmで、全国平均で見ると多雨多雪に属しています。

1.2 河川の概要

九頭竜川は、多くの支川が南北に広く分布し、扇形の流域を奥地に向かって広がっていることが1つの特徴で、周りは中位の山地で囲まれています。



図1.1 九頭竜川流域図

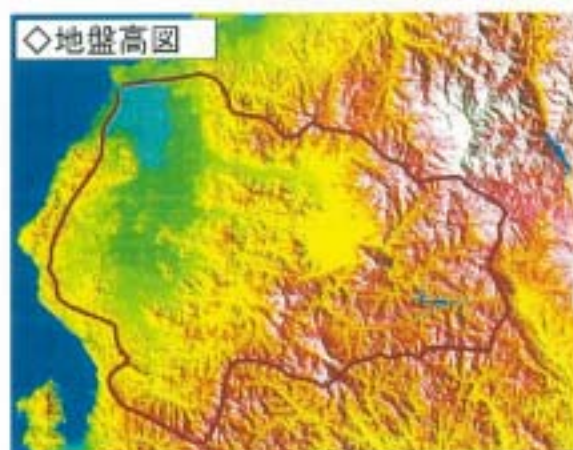


図1.2 地盤高図



図1.3 年間降水量分布図

直轄管理区間における河床勾配は、九頭竜川中流部の鳴鹿地先から福井大橋付近までは1/300程度ですが、その下流日野川が合流するまでの間は1/540～1/1,200と急変しています。一方、日野川は、1/2,000～1/5,300程度と緩やかな河床で、この下流の合流後の九頭竜川は、1/5,000～6,700と緩流河川です。人口や資産が集積する福井平野は、九頭竜川及び日野川、足羽川などの下流に発達する

低平な沖積平野で、福井市街地はこの3川に囲まれた地域に集中しています。

また、九頭竜川下流及び日野川の直轄管理区間は、ほぼ全域が感潮区間であり唯一、瀬と淵の環境が存在するのは、九頭竜川中流部のみです。

◇九頭竜川・日野川・足羽川の河川勾配

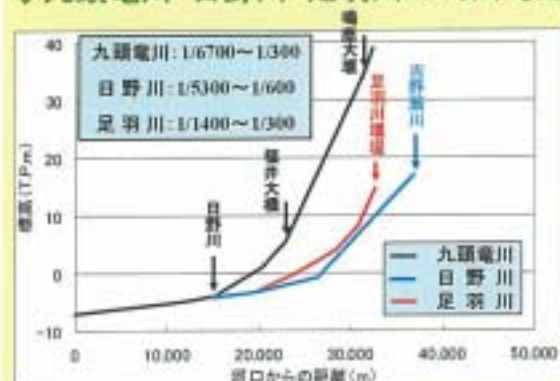


図1.4 河川縦断面図

◇九頭竜川の特徴

地形特性

- ★九頭竜川、日野川、足羽川の沖積平野に福井市は発展してきた
- ★福井平野は三川の洪水時の水位より低い

氾濫特性

- ★福井市街地に人口、資産が集中している
- ★3川のいずれの河川が氾濫しても福井市街地への影響は大きい

図1.5 九頭竜川の特徴

◇九頭竜川、日野川、足羽川に囲まれた福井市街地



図1.6 九頭竜川・日野川・足羽川に囲まれた福井市街地

◇福井市街地の横断面図

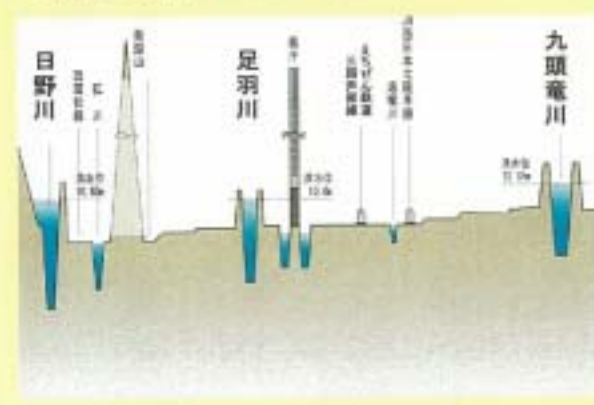


図1.7 福井市街の横断面図